

# かもがわ 議会だより

平成29年(2017年)

8月15日

第50号

発行 鴨川市議会報編集委員会

〒296-8601 鴨川市横渚1450番地 電話04(7093)7825

ホームページアドレス <http://www.city.kamogawa.lg.jp/>



## 第2回定例会の主な内容

- 議案質疑 ..... 2
- 常任委員会の審査内容 ..... 4
- 一般質問 ..... 6
- 議決結果 ..... 13
- 賛否の公表 ..... 14
- 第2回臨時会の概要 ..... 15
- 中学生だより ..... 18

## 第7回水田杯少年野球大会

鴨川市営球場で第7回水田杯少年野球大会が開催され、AKマリーンズ主将が選手宣誓を行いました。(2017年7月8日・9日)



マチイロ  
まちを好きになるアプリ



※広報紙をスマートフォンやタブレットで

# 6月定例会

## 平成29年度鴨川市一般会計補正予算など21議案を可決

平成29年第2回定例会は、6月2日から22日までの21日間の会期で開かれました。

この定例会では、市長から提出された19議案と議員提出の2件の発議案は、全て原案のとおり可決・同意されました。また、陳情2件は、審査した結果、採択となりました。

6月7日・8日には、7名の議員が登壇し、市政全般に関する一般質問を行いました。

6月9日には、渡辺訓秀議員・滝口久夫議員・鈴木美一議員・平松健治議員・久保忠一議員・佐久間章議員・川崎浩之議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

◎議案第31号 鴨川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

**問** 介護保険施行規則の一部を改正する省令の一部が平成28年4月1日に施行したことにより、今般この条例改正を行うとのことだが、なぜ省令施行後1年を経過したこの時期に行うのか。

**答** 主任介護支援専門員

の5年ごとの更新制導入

とともに、経過措置として、平成23年度までに主任研修を修了した方は、平成31年3月31日までに主任介護支援専門員更新研修を修了することとされている。そして、この条例改正については、この経過措置の間に行えばよい旨が国からの通知で出されており、安房郡市の3市1町では、経過措置期間を待つことなく、ほぼ同時期の定例会での条例改正をすることになった。

**問** 鴨川市では地域包括支援センターとして業務を行う福祉総合相談センターや、市内の民間法人等が運営する居宅介護支援事業所、いわゆるケアマネジャー事業所には、主任介護支援専門員が現在、何人いるのか。

**答** 平成29年4月1日現在、福祉総合相談センターの主任介護支援専門員は、ふれあいセンター内の市直営の福祉総合相談センターに2名、そして社会福祉法人太陽会に委託している天津小湊保健福祉センター内のサブセンターに1名、計3名

である。また、市内の居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員は8名である。

**問** 介護人材確保の観点から、主任介護支援専門員についても、今後さらに増やしていくことが必要だが、どのようにお考えか。

**答** 要介護高齢者等を地域で支える仕組みづくりが必要な中、地域包括ケアシステム構築の実現に向け、主任介護支援専門員は必要な専門職である。現在、市内には59名の介護支援専門員がいるが、市としても、この介護支援専門員が実務経験をもとに専門知識及び技能習得により、専門性を高め、主任介護支援専門員として少しでも多く育ち、増員が図られるよう、鴨川市介護支援専門員協議会とも連携を図りながら、介護人材確保・育成の観点からも支援して参りたい。

**問** 財政調整基金の繰入金

◎議案第32号 平成29年度鴨川市一般会計補正予算(第2号)について  
**問** 鴨川中学校の施設改修事業として1299万5000円について、野球場の土が強風により飛散することが予想されたが、これについてはいつから教育委員会へ申し入れ、対応があったのか。また、浄化槽の老朽化した設備の更新工事の内容は。

**答** 平成23年4月より使用開始し、開校と同時に対応し、朝練習あるいは放課後等の練習の終了時に内野に水を散水し、その飛散防止に努めている。また、浄化槽の更新工事は、浄化槽内の中空系膜をこれまで耐用年数3年のところを経費節減の観点からできる限り使用してきたが、限界となったので、新しいものと交換するものである。

**問** 財政調整基金の繰入金

ないか。

**答** 財政調整基金の繰入金については、その年度毎において、それぞれの事情がある、年度間において、非常にばらつきがあります。平成29年度の繰入額は約9億5000万円であるが、積立金約1億5000万円があるので、差し引きは約8億円の減額と、予算上はなるが、この額については、過去6年間を見ても突出して多いというようなことはない。

**問** 住宅リフォーム補助金1500万円について、自営業者で店舗や工場等の併用住宅を改装したい場合に、補助対象となるのか。

**答** 店舗や事務所等との併用住宅の場合は、あくまでも居住用部分の工事に係る経費を対象とするものである。また、屋根や外壁、雨どいなどの共用部分の工事に係る経費については、住宅用部分

と店舗や事務所などの床面積を案分して、補助対象経費を算出する。

**問** 総合運動施設維持管理費1269万2000円のうち873万8000円のトイレ設置について、この財源、また設置場所、個数、またこれがどのような利便性の向上につながるのか。

**答** 財源は、一般財源となる。千葉ロッテマリーンズのキャンプや全国高校サッカー千葉県大会、また昨年度から新たに全国規模の自転車ロードレースが開催されるなど、大規模なイベントがある。

また、オルカ鴨川FCの公式戦、その開催に伴い、試合時には1000人以上の来場者がある。このため多くの人たちが列をなし、不便を来しているため、陸上競技場のスタンド外周北側に屋外簡易トイレを設置するものである。仕様や設置数

は、洋式便座8基、小便器4基、手洗い4基を備えたものを考えている。

**◎議案第33号** 鴨川市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を4分の1以上とすることについて同意を求めることについて

**問** 市内の認定農業者の数は。

**答** 現在、認定農業者の数は89人である。その内訳は、個人が79人で、認定農業者である法人は10人である。

**問** 認定農業者となるための条件は。

**答** 認定農業者になるためには、農業に対し、自ら計画をして、収支等も含め、認定農業者の判定の段階で審査する。そして、ある程度の所得も必要であるので、農業に對して意欲的に取り組んでいくことが主な要件である。

**問** 法律第8条第7項で

は、「市町村長は、第1項の規定による委員の任命に当たっては委員の年齢、性別等に著しい偏りが生じないように配慮しなければならない。」と

されているが、今回この12名の方は、第7項の規定に關し問題がないのか。

**答** 推薦公募をお願いする段階で青年または女性が推薦を受け、また募集に応募するように働きかけを、広報等を使って行った。

また、青年の範囲についても県に確認をしたところ、おおむね50歳以下の者をいうとされており、今回1名の方が該当する。また、女性の登用についても、広報誌や市のホームページ等で募集要項を掲載するとともに、農業委員に對しても、制度の概要や農業委員の募集の要件等の中で、青年や女性登用を説明するなどし、農業委員を通じて周知を図った。しかし、公募や

推薦がなかったが、この規定は努力義務とも解されることから、問題はな

**問** 農業委員と農地利用最適化推進員の業務の役割は。

**答** 農業委員は、農地の権利移動の許可等の合議体としての決定行為を行う。また、農地利用最適化推進員は、担い手への農地利用の集積あるいは集約化、耕作放棄地の解消等の地域における現場の活動を中心に行うものである。

農業委員と農地最適化推進員がそれぞれタッグを組むような形でこれらの業務を遂行する。



# 常任委員会の 審査内容

各常任委員会に付託された議案の審査内容の主なものを掲載します。議案等の名称については13ページをご覧ください。

## 予算常任委員会

### ◎議案第32号

**問** 財政調整基金が減少しているとの事だが。

**答** 災害などの緊急時の対応のため、本基金もある程度の額を確保しておく必要がある。このため経費の削減に加え、事業についても取捨選択し財政運営をしていきたい。

**問** ふるさぽーと基金について、総務省より高額な返礼品は控えるよう通知が出ているが。

**答** 本市の返戻率は4割程度となっている。今後については、近隣の状況

を見ながら対応していきたい。

**問** 戦没者追悼事業の概要について。

**答** 平成27年度から隔年で実施しており、参加者は約330名であった。戦没者の慰霊並びに恒久平和の祈念という趣旨を踏まえ、引き続き実施していきたい。

**問** 特定不妊治療費助成制度の実施はいつになるのか。

**答** 本年10月1日から開始する。

**問** 清掃センターの設備改修工事の内容及び今後の方針は。

**答** 今回は、ダイオキシン等を取り除く、排ガス処理施設等の改良工事を行うものである。今後は、必要性、緊急性の高いものから修繕を実施する予定である。民間業務委託も将来は、選択肢の一つとしてあがってくるかも知れないが当面は費用対効果等を勘案しながら、

修繕等を進めていきたい。

**問** 北小町地区の県営ほ場整備事業について。

**答** 事業への補助率は、国55%、県30%、市5%で、地元負担は10%となっている。現在の担い手として、農事組合法人北小町ファームと農家が77名である。農地面積は38・5haで事業予算は14億2000万円である。

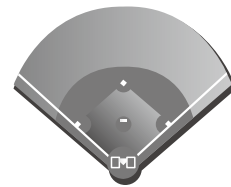
**問** 小・中学校にタブレット端末を整備するとの事だが。

**答** 全ての小中学校にデスクトップ型パソコンが配備されてから10年が経過したので、今回はタブレット端末を2年間で整備しようとするものである。災害時に市民の方へWiFiを開放することも視野に入れての計画である。

**問** 鴨川中学校野球場工事の目的と内容について。

**答** 野球場内野部分の土が減っているため、内野及びファウルグラウンド

の約2000㎡部分に混合土約9㎡を使用し整備、最後に防塵、除草効果のあるにがりも散布予定である。



**問** 天津地区所在のわんぱくハウスの維持補修工事について。

**答** 施設内に木製角柱を8本使用した展望台がある。今回、そのうちの腐食した4本の角柱の交換改修を図るものである。

**問** 公民館改修工事の内容について。

**答** 主基公民館では空調機3台の更新と館内講堂の床改修工事を行なう。中央公民館では、屋上の防水改修工事を行うものである。

## 総務常任委員会

### ◎議案第29号

**問** 情報連携の開始予定

日はいつか。

**答** 内閣府及び総務省の通知では、本年7月18日から施行運用の開始を想定するとなっている。

**問** 鴨川市のシステムの整備状況は。

**答** マイナンバーを取り扱う機能の本市システムへの組み込み、情報提供ネットワークに接続する機能の追加、情報照会に必要な機能の追加等、全て対応済みである。

**問** 個人番号カードが無いと、サービスを受けられないのか。

**答** 個人番号を利用する事務手続きでは、個人番号の確認と身元確認が義務付けられている。個人番号カードを持たない方は、通知カードの他、個人番号入り住民票と運転免許証又はパスポート等により確認することで、手続きが行える。

**問** 個人番号カードの交付状況とコンビニ交付の利用状況は。

**答** 5月末日時点で、申請件数4230件に対し交付枚数は3908枚となっており、交付率は全国平均8・4%に対し本市は11・5%となっている。また、コンビニにおける各種証明の交付状況は、1月23日の開始以来、5月末現在で84通となっている。

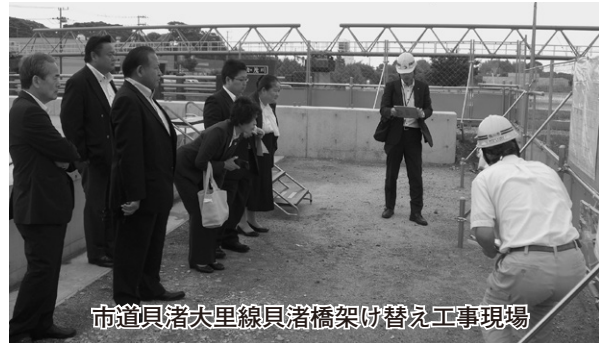
### 建設経済常任委員会

#### 所管事務調査

平成29年6月14日に市内の所管事務調査を実施した。

調査箇所は、①太海フラワー磯釣りセンター立休駐車場の工事現場②市道貝渚大里線貝渚橋架け替え工事現場③市道西池田青木原線他（認定こども園O・U・R・S付近）道路の3箇所。

各箇所にて工事の進捗状況や整備・改善点などについて、担当課の説明等を受けた。



市道貝渚大里線貝渚橋架け替え工事現場

### 文教厚生常任委員会

#### ◎議案第31号

**問** 主任介護支援専門員の更新研修導入は、具体的にどのような目的で実施をするのか。

**答** 介護サービス利用者のケアプランを作成する介護支援専門員の人材育成、事業所や職種間の調整、又医療や介護、介護予防、生活支援等が一体的に提供されるよう地域包括ケアシステム構築の実現に向けての継続的な

資質の向上を図るためである。

**問** 更新研修の具体的な内容と、研修の時間は。

**答** 主任介護支援専門員の更新研修は、都道府県単位に、46時間以上の受講が必要となり、地域包括ケアシステム構築に向けた主任介護支援専門員の役割、リハビリテーション事例、認知症、医療と介護の連携事例、家族支援が必要な事例の検討などを行うカリキュラムとなっている。

**問** 市長は就任当初から、地域包括ケアに力を入れていくと表明しているが、今後の方策は。

**答** 地域の実情に応じ、高齢者等生活に困難を抱えている方などが、可能な限り住みなれた地域で安心して生活出来るように支援していくことが、地域包括ケアシステムの狙いでもあり、日常生活圏域でも必要とされるサービスを的確に把握し、

その課題を捉えながら安心して暮らし続けられるような地域づくりを行っていきたくと考えている。



#### ◎陳情第15号

**問** 陳情事項に対する市の状況や問題点は。

**答** 1番目の「震災からの教育復興に係る予算の拡充」に関しては、震災から避難している児童生徒に、被災幼児児童生徒就学支援事業交付金より、適切な補助をしている。2番目の「教職員定数の改善」に関しては、県の公立小中義務教育学校定員配置基準による教職員配置基準によって、小湊小学校では、複式学級の解消を図っている。3番目の「教科書無償制度」では、教育の機会均等の趣旨からも、国の方で堅持いただきたいと考えている。4番目の「就学援

助や奨学金事業にかかわる予算の拡充」に関しては鴨川市就学援助費支給規則に基づき、就学援助を行っている。5番目の「総合型地域クラブの育成等、環境・条件の整備」に関しては、平成15年度に総合型地域クラブとして鴨川オーシャンスポーツクラブを立ち上げ会員は自分の好きな時にどのスポーツでも体験ができるを特色に運営している。6番目の「公立学校施設整備費の充実」に関しては、学校施設の耐震改修工事が、平成27年度に終了したが、今後は老朽化への対応として、平成31年度までに学校施設の長寿命化計画を策定し、整備を進めていく。7番目の「基準財政需要額の算定基準の改善・地方交付税交付金を増額する」に関しては、大幅な算定基準の改定はないと認識している。



日本共産党  
滝口 久夫 議員

鴨川市における  
人口減少と過疎化

**問** 命と健康に直結する地域医療の後退、保育園・幼稚園・小学校の統廃合により必要とするものが市の中心部に集約され、地域社会が持っていた機能が損なわれ、人口減少と過疎化に拍車をかける結果を招いている。

市の平成22年の人口3万5766人が、平成27年は3万3393人と、1834人の減少、この数は小湊地区の平成27年の人口、1860人で、旧小湊町がそっくり消滅したことになる。小湊地区の平成22年の人口が、2075人、5年後の平成27年が1860人と、215人の減少、八百屋

**問** 小湊地区の過疎化対策について、遊休施設の利活用は  
**答** 施設全般のあり方について再検討が必要である

さんが2軒廃業。集会施設の利用減少等、過疎化の比較として大山地区の高齢化率47・5%、人口減少率が10・8%、小湊地区の高齢化率が44・5%、人口減少率が10・3%、27年の人口が、大山地区が1219人、小湊地区が1860人。大山地区の地域おこしの取組について棚田のオーナー制度、みんなの里山トラスト、オフィスの設置等、平成20年から体験型農家民宿が始まり900件を超える予約が入り、年間2500件の予約が見込まれている。

7軒の民宿では賄い切れず、大山青少年研修センターも利用され、近隣の農家の方の協力など、地域経済波及効果に寄与

する事業となっている。里山は進んでいるが、一方、里海の小湊地区は手つかずだが予約の折には、「漁業体験型民宿はありませんか。」との声があり一考の余地があると思うが伺う。

**答** 漁業関係者、宿泊事業者との連携やバランス等考慮し検討する。



**問** 自立促進計画は箱物施策が多く、福祉、暮らしがおざなりで、小中学校の統廃合、職員の削減ではなく、地域自治、住民に寄り添った施策、マッパワーが求められているが、ソフト面も計上すべきではないか。

**答** ソフト事業の充実は重要と認識しており、30事業をソフト事業として推進を図っている。

**問** 旧小湊中学校校舎活用について決定事項を覆し児童発達支援センターが八色に設置された土地は5000万円で売却できると、30年間の無償貸付で旧小湊中学校改修費約5000万円で約1億円の損失、多世代の交流の場所は、コミュニティセンター小湊で十分使用でき重複する施設はどうか。

**答** 施設全般のあり方について再検討が必要。公共サービス提供の箱物施設からサービスを提供する機能に着目し、機能の集約、複合化、重複機能の整理をし統廃合を進める。

顧問弁護士、シンク  
タンクについて

**問** 全国の自治体でも異例の納税者を相手どり、調停の申し立てを平成27年2月と平成28年9月と2年連続提出され、1件の権原取得については、所有権移転のアドバイスであった。また、他の弁護士も同様の答えであったが、それにもかかわらず、調停に踏み切った結果、解決金を支払う事が決定。

**答** 寄附による解決であったものが、大きな市の財政負担となっていくのではないか。最善の方向性を見出すべきではないか。  
**答** 事案により適切な方法を選択、問題解決を図っていききたい。



誠和会  
佐々木久之 議員

**介護保険事業の取組**

**問** 要介護1・2の認定者数は。

**答** 平成29年4月1日現在、要介護・要支援認定者2395人の内、要介護1の認定者は525人、要介護2の認定者は449人である。

**問** 地域支援事業の取組について。

**答** 要支援1、2の認定者を対象とした訪問看護、通所リハビリなどのサービスは引き続き「予防給付」により提供され「訪問介護」や「通所介護」、その他の生活支援サービスを利用する場合には新たな「介護予防・日常生活支援総合事業」として要介護認定審査を経ずに、迅速なサービスが可能と

なり選択肢が広がり、きめ細やかに利用できる体制が整えられた。



**問** 訪問型サービスの人員配置、対応について。

**答** 本市はこの「訪問型通所型サービスA」については実施していない。今後、利用希望者や地域のニーズに応じ、サービスの提供が必要となった場合に、法令遵守と共に利用者の安全確保を適切に行える事業者を選定し業務委託により実施する。制度改正前の「訪問介護」及び「通所介護」に相当するサービスについ

**問** 介護保険料の改定について

**答** 現行の月額基準額5895円の見直しをする

ては平成27年度から既に実施しており現在25事業所にて210名の方を対象にサービスが提供されている。

**問** 低所得者の食費、居住費の補足給付について。

**答** 平成27年8月から入所者が世帯非課税であっても住民票上世帯が異なる配偶者の所得も判断材料とし預貯金等が単身の場合には1000万円以下、夫婦の場合は2000万円以下がこの補足給付の対象になる。不正行為があった場合は加算金として給付額の最大2倍を課すことができる事になった。

こうした中、利用者に対し過度の威圧にならないよう、また不安をおおるような対応にならぬよう

う施設サービス等を利用する方に対し市からの周知に加え該当施設においても改正内容の案内の協力をお願いしている。

**問** 介護予防の推進による給付抑制について。

**答** 「ロコモティブシンドローム予防」や「認知症予防」、そして減塩からの疾病予防に取り組む生活習慣病予防を重点に健康づくりと介護予防の推進に取り組んでいる。

これに加え自主的な地域活動への参加やシルバー人材センターにおける就業、地域ボランティアとしての活動支援等も行いこれまで以上に介護予防の推進に努めている。

年後の平成37年度における65歳以上の第一号被保険者の介護保険料・月額基準額の全国平均は8165円になる見込みである。

平成30年度からの「第7期介護保険事業計画」策定に関する国の基本指針が7月頃に提示されるので、その後に介護保険料の設定に向け試算する。本年度、第7期計画を策定していく中で算出されたサービス見込量や介護報酬の改定状況をもとに現行の月額基準額5895円の見直しをする。平成30年第1回市議会定例会に介護保険条例の一部改正条例(案)を提案する。

**問** 介護保険料の改定は、厚生労働省の保険料の推移資料によると8



誠和会  
佐久間 章 議員

**問** リフォーム補助金の経済効果は  
**答** 1500万円の補助額に対し2億3600万円

**有害鳥獣対策について**

**問** 第2次となる鴨川市有害鳥獣防止計画は。

**答** 野生鳥獣による被害は、農作物の被害のみならず、生活環境をも脅かしており、中山間地域における被害が顕著で、平成28年度の捕獲駆除実績は、合計5242頭である。

この防止計画は、本市の有害鳥獣対策の基本となるもので、国の鳥獣被害防止総合対策交付金による事業を実施する際の採択要件でもあり、計画策定には県の策定する、ニホンザル、ニホンジカ、イノシシ、それぞれの第二種特定鳥獣管理計画、またアライグマ、キョ

除実施計画等との整合性を図り、県との協議を経た上で、捕獲駆除頭数等を考慮し、現状に即した除計画数等を定めるもので、前期3年間の捕獲頭数を考慮し、全獣種の年間捕獲計画総数を同数の6350頭に設定した。

**問** 鳥獣被害対策実施隊の設置状況は。

**答** 平成29年2月に農水商工課職員により組織し、主に防護柵の設置に伴う現地調査や相談活動を行っている。

捕獲駆除業務は、鴨川及び天津小湊猟友会の方を有害鳥獣駆除従事者として任命して協力をいただいている。

**問** 有害野生鳥獣防止柵の自主設置が困難な地域に

対する補助拡大について。

**答** 国の交付金を活用した防護柵設置は資材費の全額が国の交付金によって賄われており、設置費は、地域の住民による直営施工により行われ、中山間地域等直接支払制度等の交付金を利用して行っている集落もある。他の交付金の活用が難しく、さらには施工に係る役務の提供も難しいという集落もあるかと思われるので、今後、防護柵設置について総合的に検討していきたい。

また、国や県へ、補助金を含めた対策の強化を要望していく。



**定住化施策について**

**問** 空き家バンク制度の周知と登録状況について。

**答** 平成29年当初からの稼働を目指していたが、都市建設課で実施した鴨川市特定空き家等実態調査の完了を待って、そのデータを活用していく予定である。

**問** 鴨川市特定空き家等実態調査業務結果は。

**答** 空き家として推定されるものが733件ありその内、売却や賃貸が容易なAランクの物件が126件、期待性があるBランクの物件が108件で、この234件の物件について空き家として活用する意思があるかどうかを把握していきたいと考えている。

**住宅リフォーム補助制度について**

**問** リフォーム補助制度の概要は。

**答** 住宅のリフォーム工事を行う市民を対象に、その費用の一部を補助するもので、工事は市内の事業者が施工する20万円以上の改修・増築・模様替え等の工事で、補助金額は10%で、上限は20万円である。

**問** この事業による市内経済の波及効果試算額は。

**答** 千葉県産業連関表を用いて推計すると、1億5000万円の工事が行われた場合、第1次・第2次波及効果が表れ、経済波及効果は2億3600万円に及ぶと試算でき補助金額に対し約15・7倍になる見込みである。





公明党  
福原三枝子 議員

**多目的施設建設の方向性について**

**問** 平成23年1月に市民会館建て替え協議から始まり、今年3月の入札公告までに費やした市民の皆様の参画と財政支出額は。

**答** 延べ225人の委員が22回、40時間。約1億3372万6000円を支出している。

**問** 厳しい財政状況等を踏まえ、今一度事業の優先順位を検討するために多目的施設建設を中断し2カ月間かけて検証した内容と結果は。

**答** 各課の主要事業の、その必要性や公益性、投資効果など、全体の優先順位をつけるための判断材料となるものの把握

**問**

**多目的施設建設「一時中断」後の方針は**

**答** **更に検討を重ね、9月までには是非を判断する**

握（事業仕分けの基礎資料）を進めたが、多目的施設建設の是非について判断をするまでには至らなかった。

**問** 更なる検討の必要がある内容は。

**答** 建設に係る一般財源負担見込み額9億円プラス将来負担となるランニングコスト等も含めた検証と水道管更新等のインフラ整備・有害鳥獣対策・清掃センターの延命化・国保病院の更新などである。

**問** 次の決定月は。

**答** どの事業を優先的に実施していくべきかを更に検討を加えなければならぬ為、9月までには多目的施設建設の是非を判断する。



**健康ポイント制度実証事業について**

**問** 平成28年度事業の実施結果及び成果は。

**答** アンケート結果では60代が最も多く、性別は女性、職業は主婦の方が多かった。「本事業が健康の維持増進に関する取組みの習慣化に役立ったと思うか」の設問では「思う」「どちらかと言えば思う」で80%以上を占めた。

**問** 課題と今年度の取組みは。

**答** ①ポイントシートの回収数が低位だったため増加を図る。②若年層、

中年層を強化。③受付窓口の増加で、提出者の利便性の向上を図る。④景品の魅力を強化。

開始時期を8月に前倒しとポイントシートの形式をより簡単でわかりやすいものとする。

**問** 健康推進に尽力して頂いている介護予防サポーターや薬剤師の方々にご協力をいただくことは。

**答** 健康ポイント制度の趣旨をご理解いただき、啓発等にご協力をいただいています。

**家庭教育支援チーム構築について**

**問** 家庭教育の取組みと成果・課題・チーム構築は。

**答** 公民館では家庭教育学級の開催により、親同

士の情報交換や仲間づくりの場に。図書館では本を媒介として子供と触れ合う時間の大切さを。講演会、相談窓口、ミニ集会、パンフレット配布などを通して子育てに役立っている」と把握している。

課題は、孤立しがちな親や学ぶ余裕がない親などへの効果的な支援ができていないこと。

これらの課題解決のために、家庭教育支援チーム設置を積極的に検討していく。

**意見**

多目的施設建設にストップをかけた市長は、市民の皆様にも、検証結果の説明と是非についてもご意見を伺い、文化とスポーツを踏まえ、喜んでいただける方向性を出すよう要望する。



佐藤 和幸 議員

**市民最優先、市民の満足度を上げる行政運営**

**問** 市民の意見を反映する手段の一つに、パブリックコメントがあるが、意見反映等の実績は。

**答** 直近3年度の意見提出件数は、合計148件で、修正など、直接計画等に反映させたものは27件。

**問** 各年度別の具体的な実施件数は。

**答** 平成26年度は、15件のうち、計画等に係わるもの8件に対し、5名から計16件の意見。条例7件に対し、意見なし。平成27年度は、14件のうち、計画等に係わるもの9件に対し、6名から計28件の意見。条例5件に対し、意見なし。平成28

**問**

**答**

**前原横渚海岸整備と並行して市全体の整備も必要では  
同時に本市全ての海岸について検討する**

年度は、9件のうち、計画等に係わるもの5件に対し、団体を含む11名から計104件の意見。条例4件に対し、意見なし。

近年の傾向として、計画等に対しては年々意見提出件数は増加しているが、条例については、平成19年の制度開始以来、今日に至るまで20を超える意見公募を行ったが、意見提出はなかった。

**問** 条例等については、なかなか意見が集まり難いのではないかと。もっと具体的な事業に対して、立案段階で意見反映ができるような形でのパブリックコメントの活用はできないか。

**答** 現状、計画等に記載のある範囲内で、個別事業についても意見を募

集している。パブリックコメントは、適切な運用を図り、市民参画の手法として効果的に活用することが肝要と考える。

また、具体的な事業に対しての意見については、それぞれ委員会等で意見を聞き、その内容を充実させていくことも行っている。

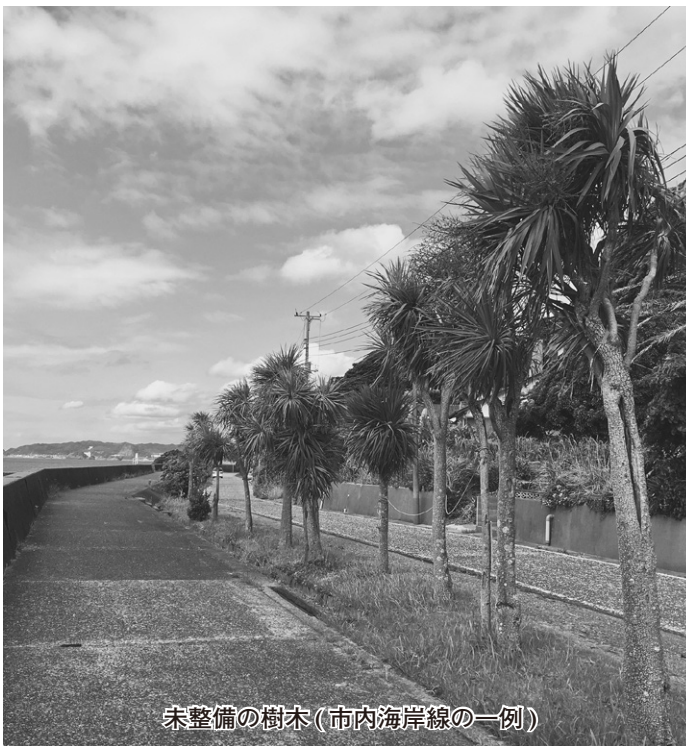
**前原横渚海岸周辺の魅力づくりについて**

**問** 今回の整備対象エリアとその周辺地域だけに限らず、市民全体での統一的な目標を示すものとして、景観マスタープラン等の策定は出来ないか。

**答** 統一の目標を定める必要性は重要であると認識しており、策定の可能性を含め検討する。

**問** 前原横渚海岸付近の整備がされても、市内の他の海岸線や道にある樹木等が放置されているのは本末転倒。市管理のものでないとしても、手入れの要請や不要なものならば撤去する等の対応が必

要では。  
**答** 海岸や道路にある植物、樹木等は、それぞれ管理者や所有者が異なるが地域の意見を所有者や管理者へ伝えるところに調整を図り、適切な管理に努めたい。



未整備の樹木（市内海岸線の一例）



誠和会  
川股 盛二 議員

地域公共交通

ユウコウ

**問** 全国で公共交通空白地における有償運送が定着している。自家用車有償旅客運送活用の考え方について伺う。

また公共交通は単なる移動手段だけでなく、当市が先進的に行っている地域包括ケアシステムの重要な要素である。高齢者の外出機会、地域の状況等を考慮すると共に、鴨川市の将来像を明確にし、高齢者の居住地や地域公共交通ネットワークの形成を地域包括ケアシステムの構築と一体的に実施し、今後の少子高齢化を踏まえ、子供や高齢者など交通弱者が気軽に利用できる地域公共交通

問

選挙の投票環境向上の取り組みについて

答

移動期日前投票所導入や移動支援等の投票環境を整えたい

網の構築について伺う。

**答** 少子高齢化、人口減少の進む中で、地域包括ケアシステムの充実を図り、全ての市民の暮らしの安心、充実を図るためには、公共交通の充実、交通空白地の解消は大きなテーマであると考えている。

**問** 本市としても、公共交通の充実を図る為に、自家用有償旅客運送を初め、新たな公共交通システム導入について、地域の実情に応じた実施主体や運行方法等の検討を行い、本年度中には、具体的な方向性を見出したいと考えている。

選挙の投票環境

向上ユウコウ

選挙における投票率

の低下が全国的に問題になり棄権を防ぐため、全国の市町村で有権者の投票環境向上に向けた取り組みが行われている。

防ぐために、投票環境を向上させる動きが始まっている。

ワゴン車による移動期日前投票所を導入した自治体もあり経費は、ほぼ全額を選挙執行経費基準法に基づき、国費により措置されており、地方選挙についても平成28年度から特別交付税措置を講じている。少しでも投票率を上げるといった取り組みはあつてしかるべきだと思う。市としての考え方は。

今後、推進しなくてはならないであろう投票所の統廃合に絡め、二重投票の防止に十分配慮した移動期日前投票所の導入、特定の選挙人に対する移動手段などを確保する移動支援、期日前投票所の見直しなど、本市の投票環境を整えていきたい。

**答** 質問のとおり、選挙における投票率の低下が全国的に問題になっている中、投票所までの距離が遠い人や、交通手段を持たない選挙人の棄権を



期日前投票所として運用されているワゴン車

有害鳥獣について

**問** 全国的に、狩猟ビズ

ネスや地域おこし協力隊による有害鳥獣の駆除と共に、食肉加工やジビエ民宿、ジビエレストラン経営などが産業化され、ジビエを収入源とした定住事例も出てきている。本市のジビエによる地域振興策について伺う。

**答** 移住者や地域おこし協力隊による有害獣駆除は、有害鳥獣駆除従事者の高齢化問題の解決策という側面に加え、移住・定住へとつながる可能性がある。駆除した有害獣の有効利用により、地域の活性化へと結びつけることは本市にとって一挙両得となるので、検討していく。



平松 健治 議員

**問** 宅地1万5000戸分相当(戸当り60坪)の林地開発について伺う

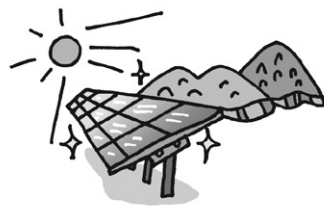
**答** 太陽光発電計画について、市民との情報共有に努めたい

**2級河川・加茂川の  
上流域で計画され  
ている大型太陽光  
発電施設について**

**問** 事業の予定地、規模、各種許可手続きとその進捗予想。

**答** 鴨川有料道路の西側の山林丘陵地、その面積概ね300haを林地開発し、太陽光発電パネルを設置する計画である。発電規模130MW、一般家庭4万1600戸分の年間消費量としている。昭和61年頃この場所で、産業廃棄物処理施設建設の計画があったが、市の基本構想の支障になる、また、周辺環境への影響や公害発生についても懸念があるとし、時の鴨川市議会により反対決議が

されている。許可申請基準が自然環境保全協定と林地開発の対象面積は共に、1ha以上としている。事業者は、8月頃に周辺住民への説明、11月頃に今回の申請を予定しているとのことである。



**問** 雨水流出による河川、海への影響そして、その地を追いやられるシカ、イノシシ、サルなどの鳥獣類の広がりによる、農業・生活環境等に対する影響について。

**答** 河川沿岸地での集中豪雨と潮位の関係での浸水の懸念をはじめ、雨水流出時の流木やゴミ、土砂等が海水浴場や磯根環境・水産資源へ与える影響等が日常でも課題となっている。事業予定地からの雨水流出には、十分な配慮がされるべきと考えている。

有害鳥獣による被害は、未知数であり環境調査結果等を受け実態把握に努めたい。

**問** 今後の対応について。  
**答** この事業は、本市にとって大規模な開発であり、事業者との調整や住民対応の必要から、庁内に関係各課による調整会議等を設置するなどし、今後についての体制整備を図りたい。

**所信表明と施政方針について伺う**



事業内容等が具体的に見えてこない、国保病院の施設老朽化・水道事業での水道管の老朽化等への対応・取組みについて不足と停滞感を感じている。

**問** 多目的施設建設工事の入札を、具体的な中止事由が整わない中、自治法の求める議会承認も得ずに独断で中止した。この行為で市に相当の損害が想定されるがこの場合の責任について。また入札中止を最長で2ヶ月としていたが。

**答** 6月での判断に至らなかったのが9月を1つのリミットとして修正したい。これにより皆様方にご迷惑、あるいは非常に不利益なことをした場合には、私は最終責任を全部とるつもりである。

**問** 市長からの4重点施策と総合計画・5か年計画の基本的な方向は同じですとの表明を受け、鴨川リセットを不安視していた市民は安堵した事と思われる。ところで、亀田市長が指摘する、鴨川が活かされていない、遅れている、停滞している点とは何か。  
**答** 例えば、空家バンクなどの具体的な取り組みが物足りない、観光プラットフォームの役割、

# 平成29年度 第2回 定例会議案等議決結果

## 【市長提出議案】

| 議案番号     | 件名   | 付託先委員会 | 委員会の審査結果 | 本会議の議決結果 |
|----------|--|--------|----------|----------|
| 議案第 29 号 | 鴨川市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について                                     | 総務     | 可決       | 可決（全会一致） |
| 議案第 30 号 | 鴨川市税条例の一部を改正する条例の制定について  | 総務     | 可決       | 可決（全会一致） |
| 議案第 31 号 | 鴨川市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について            | 文教厚生   | 可決       | 可決（全会一致） |
| 議案第 32 号 | 平成 29 年度鴨川市一般会計補正予算（第 2 号）                                       | 予算     | 可決       | 可決（全会一致） |
| 議案第 33 号 | 鴨川市農業委員会委員に占める認定農業者等又はこれらに準ずる者の割合を 4 分の 1 以上とすることにつき同意を求めることについて | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 34 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 35 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 36 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 37 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 38 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 39 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 40 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 41 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 42 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 43 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 44 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（全会一致） |
| 議案第 45 号 | 鴨川市農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて                                     | 付託省略   |          | 同意（賛成多数） |
| 諮問第 1 号  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて   | 付託省略   |          | 答申（全会一致） |
| 諮問第 2 号  | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて   | 付託省略   |          | 答申（全会一致） |

## 【議員提出議案】

| 発議案番号     | 件名                             | 付託先委員会 | 委員会の審査結果 | 本会議の議決結果 |
|-----------|--------------------------------|--------|----------|----------|
| 発議案第 20 号 | 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書について      | 付託省略   |          | 可決（全会一致） |
| 発議案第 21 号 | 国における平成 30 年度教育予算拡充に関する意見書について | 付託省略   |          | 可決（全会一致） |

**【報 告】**

| 報告番号  | 件 名                           | 付託先<br>委員会 | 委員会の<br>審査結果 | 本会議の<br>議決結果 |
|-------|-------------------------------|------------|--------------|--------------|
| 報告第1号 | 平成28年度鴨川市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について |            |              |              |
| 報告第2号 | 専決処分の報告について（損害賠償の額の決定及び和解）    |            |              |              |

**【陳 情】**

| 陳情番号   | 件 名                                       | 付託先<br>委員会 | 委員会の<br>審査結果 | 本会議の<br>議決結果 |
|--------|---|------------|--------------|--------------|
| 陳情第14号 | 「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書          | 文教厚生       | 採 択          | 採択（全会一致）     |
| 陳情第15号 | 「国における平成30（2018）年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書 | 文教厚生       | 採 択          | 採択（全会一致）     |

## 賛否の公表

上表の議案（全会一致のものを除く）について、議員別に賛否を公表します。

○・・・賛成    ×・・・反対    欠・・・欠席    遅・・・遅刻    早・・・早退    「-」・・・議長

|        | 1        | 2      | 3         | 4        | 5        | 6        | 7         | 8       | 9        | 10       | 11       | 12       | 13       | 14       | 15       | 16       | 17       | 18       | 19       | 20        | 議決年月日   | 結<br>果 | 賛<br>成 | 反<br>対 |
|--------|----------|--------|-----------|----------|----------|----------|-----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|-----------|---------|--------|--------|--------|
|        | 佐藤<br>和幸 | 空<br>席 | 佐々木<br>久之 | 川股<br>盛二 | 川崎<br>浩之 | 佐久間<br>章 | 福原三<br>枝子 | 渡邊<br>仁 | 刈込<br>信道 | 久保<br>忠一 | 脇坂<br>保雄 | 庄司<br>朋代 | 佐藤<br>拓郎 | 平松<br>健治 | 鈴木<br>美一 | 野村<br>静雄 | 滝口<br>久夫 | 渡辺<br>訓秀 | 辰野<br>利文 | 大和田<br>悟史 |         |        |        |        |
| 議案第45号 | ○        | /      | ○         | ○        | ○        | ○        | ○         | ○       | ○        | ○        | ○        | ○        | ×        | ○        | ○        | ×        | ○        | ×        | ○        | -         | H29.6.9 | 同 意    | 15     | 3      |

※ 議長（大和田悟史）は表決に加わりません。



本会議の採決の様子（録画中継より）

### 表 彰

5月24日に開催された  
全国市議会議長会定期総  
会において、市政の振興  
と地方自治の発展に尽く  
された功績により、本市  
議会から次の議員が表彰  
されました。

▼ 一般表彰

（議員10年以上）

庄司 朋代

### 会派・党派

4月5日付けで、新会  
派「政友クラブ」が結成  
されました。所属議員は  
次のとおりです。

◆ 政友クラブ

（せいゆうくらぶ）

会 長 佐藤 拓郎  
幹事長 渡辺 訓秀

## 第2回臨時会

### 平成28年度鴨川市一般会計補正予算など7議案を可決

平成29年第2回臨時会は、4月28日から5月1日までの4日間の会期で開かれました。

この臨時会では、市長から提出された6議案と議員提出の1件の発議案は、全て原案のとおり承認・可決されました。

これらの議案に対し、滝口久夫議員・平松健治議員・久保忠一議員・福原三枝子議員が議案に対する質疑を行いました。

### 議案に対する質疑

◎議案第23号 平成28年度鴨川市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認を求めることについて

**問** 人口1人当たりの地方交付税相当額は。

**答** 平成28年度の普通交付税、特別交付税の合計の交付額が46億220万円。これを平成27年の国調人口3万3932人で割ると、1人当たり13万5630円になる。

◎議案第27号 鴨川市スポーツに関する事務の管理及び執行に関する条例の制定について

**問** 移管事務についても、多目的施設建設の再考と一緒に、一体的に進めるべきと考えるが。

**答** スポーツ振興課を中心としたスポーツ関係の事業、施策等についてはこの条例の制定によって、より一層連携を図って進めていきたい。

◎議案第28号 平成29年度鴨川市一般会計補正予算(第1号)について

**問** スポーツ振興課を所管とする新規事業、スポーツを通じた地域の稼ぐ力応援計画を29年度に行うとしていたが。

**答** スポーツを通じた地域の稼ぐ力応援計画については、スポーツを通じた

じた新たな地域産業の振興計画の策定や、総合運動施設内の陸上競技場のスタンド整備などを含め、新たな計画として申請をしております、6月定例会で予定をしている補正予算への計上が適当であると

の判断から、このような形での予算計上とした。

**問** 事業仕分け実施事業について。

**答** 事業仕分けのやり方は、複数あるが、仕分けられた結果の最終的な判断は、議会の場で行っていただく。

**問** 耐震改修等補助金の補助率と限度額は。予定している件数は。

**答** 国の補助金交付要綱

に定められている施設面積1㎡当たり5万3000円が上限で、その23%を補助金として交付する。現在の工事申し出は3施設になる。

**問** 交付金対象となる施設規模等の基準は。市内で該当する施設数は。

**答** 不特定多数のものが利用する病院、店舗、旅館などで、3階建て以上かつ床面積5000㎡以上のものが該当する。市内の該当施設は5施設あり、そのうち3施設から申し出があった。

## 討論



◎議案第28号 平成29年度鴨川市一般会計補正予算(第1号)

賛成 平松健治議員  
本議案についての予算

## 常任委員会の審査内容(臨時会)

各常任委員会に付託された議案の審査内容の主なものを掲載します。議案等の名称については17ページをご覧ください。

委員会での審査の概要、結果については、全員賛成であった。しかし、補正予算に「事業仕分け」事業があるが、補正予算自体の「事業仕分け」も必要ではないか。今回の執行部の説明では、今後の議会によるチェック体制の必要性を感じている。その事を申し添えて、賛成討論とする。

### 予算常任委員会

◎議案第28号

**問** 事業仕分けされる事業の基準は。住民参画がなければ、地域性が考慮

されず、一方的な議論に終わってしまうのでは。

**答** 他市の例も参考に本市としての形を、これから検討して決めていきたいと考えている。

**問** 事業仕分けの予算計上された積算内容は、

**答** 本市にとつては初めての事業となるので、「構想日本」からの見積書を参考にしている。

**問** 行政評価については、今後の事業に活かしていくのか。

**答** 良い所を取り入れて今後も続けていく。

**問** 市民後見推進事業について、現在どのような状況なのか、また後見人について、今後どのくらいの募集をするのか。

**答** 現在、成年後見人が付いている方は45人。市民後見人養成研修の募集人数は20名を予定している。

**問** 生ごみ肥料化容器購入推進事業の予算について昨年と比べて減額した

理由は。

**答** 補助金額等に変更はないが、昨年度から補助金申請件数が減ったので減額とした。

**問** 清掃センター可燃ごみ積み替え設備工事について、大規模な修繕は予定しているのか。

**答** 平成35年まで現施設の稼働を継続させる方針のため、今後予定している。

**問** 鴨川市のごみ分別排出の徹底について、今後の予定は。

**答** 雑紙を資源ごみとして取り扱い、事業者にも協力をお願いしていく。

**問** 森林整備事業について、市有地以外の対応をどう考えているか。

**答** 県に対しての要望を続けていく。

**問** 空き店舗等物件調査委託料の詳細は。

**答** 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関する利用計画を踏まえた空き店舗等の情報を収集、整理

し基礎資料づくりを行う。

**問** 鴨川新町通り歩行者天国事業補助金について継続性があるのかどうか。

**答** 継続的な形で進めて行ってもらうような形で市からも協議、要望等をしていきたい。

**問** 観光プラットフォーラム組織機能強化事業補助金とは何か。

**答** 人件費相当分、プロモーション事業分、プロモーションのツール、パンフレット等を作成する費用、インバウンドプロモーション事業、外国人の誘客を図る事業、宿泊型滞在観光推進事業、それぞれ別の事業に対しての補助金である。

**問** 前原横渚海岸周辺の魅力づくりに関するコンサルティング委託料について効果はあるのか。

**答** 委託の経過やその結果については、議会に対して報告しながら、事業を進めていくので、ご理解をいただきたい。

**問** 前原海水浴場倉庫新築工事の詳細について、また、その倉庫が別計画の邪魔になることはないのか。

**答** 市民会館寄りの北側に、木造平屋建て17・35㎡、約5・25坪ほどの倉庫を計画している。

また、別計画や通行等の支障にはならないと考える。

**問** 都市計画区域の業務の委託料についてその発表時期は。都市計画区域の再編や用途地域の見直しによる影響はあるのか。

**答** 時期的なものもは未確定で速やかな手続をしていく。見直しによる影響はないと考えている。

## 総務常任委員会

### ◎議案第27号

**問** 部局の異動について各部署の専門的なものを横断的に連携を取れるようにする考えはあるのか。

**答** 職員体制をそのまま引き継ぐ形で所管を移

す。また、教育委員会等へ参加することで、連携を取るようになる。

**問** 社会体育の施設利用について市民が優先的に利用できるようにはできないか。

**答** 施設には空きやすい時間もあるので、そこに外部の方に来ていただくことも今後検討していきたい。

**問** スポーツ部門の部局移動だが、文化部門に関しては。

**答** 他市の例を踏まえ、検討をしていく。

**問** 部局異動によって学校の体育館等の施設利用などに変化は発生するか。また特別交付税等にも変更はないのか。

**答** 変更はないと考えている。



# 平成29年 第2回 鴨川市議会臨時会議案議決結果

## 【市長提出議案】

| 議案番号   | 件名  | 付託先委員会 | 委員会の審査結果 | 本会議の議決結果 |
|--------|---|--------|----------|----------|
| 議案第23号 | 専決処分の承認を求めることについて（平成28年度鴨川市一般会計補正予算（第8号））                 | 付託省略   |          | 承認（全会一致） |
| 議案第24号 | 専決処分の承認を求めることについて（鴨川市税条例の一部を改正する条例）                       | 付託省略   |          | 承認（全会一致） |
| 議案第25号 | 専決処分の承認を求めることについて（鴨川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）                 | 付託省略   |          | 承認（全会一致） |
| 議案第26号 | 専決処分の承認を求めることについて（鴨川市過疎地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例） | 付託省略   |          | 承認（全会一致） |
| 議案第27号 | 鴨川市スポーツに係る事務の管理及び執行に関する条例の制定について                          | 総務     | 可決       | 可決（賛成多数） |
| 議案第28号 | 平成29年度鴨川市一般会計補正予算（第1号）                                    | 予算     | 可決       | 可決（全会一致） |

## 【議員提出議案】

| 発議案番号   | 件名                          | 付託先委員会 | 委員会の審査結果 | 本会議の議決結果 |
|---------|-----------------------------|--------|----------|----------|
| 発議案第19号 | 鴨川市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について | 付託省略   |          | 可決（全会一致） |

## 賛否の公表

上表の議案（全会一致のものを除く）について、議員別に賛否を公表します。

○・・・賛成 ×・・・反対 欠・・・欠席 遅・・・遅刻 早・・・早退 「-」・・・議長

|        | 1    | 2  | 3     | 4    | 5    | 6    | 7     | 8   | 9    | 10   | 11   | 12   | 13   | 14   | 15   | 16   | 17   | 18   | 19   | 20    | 議決年月日 | 結果      | 賛成 | 反対 |   |
|--------|------|----|-------|------|------|------|-------|-----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-------|-------|---------|----|----|---|
|        | 佐藤和幸 | 空席 | 佐々木久之 | 川股盛一 | 川崎浩之 | 佐久間章 | 福原三枝子 | 渡邊仁 | 刈込信道 | 久保忠一 | 脇坂保雄 | 庄司朋代 | 佐藤拓郎 | 平松健治 | 鈴木美一 | 野村静雄 | 滝口久夫 | 渡辺訓秀 | 辰野利文 | 大和田悟史 |       |         |    |    |   |
| 議案第27号 | ○    | ○  | ○     | ○    | ○    | ○    | ○     | ×   | ○    | ○    | -    | ○    | ○    | ×    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○     | 欠     | H29.5.1 | 可決 | 15 | 2 |

※ 議長は表決に加わりません。

※ 5月1日は、議長が欠席であったため、副議長（11番 脇坂保雄）が議長の職務を行ったため「-」となっております。

# 中学生 だより⑤

このコーナーでは、市内の中学生の日ごろ感じていることや将来の夢などを紹介します。鴨川市議会は、そういった思いを後押ししていきます。



鴨川中学校  
3年  
高野 光生さん

## 生徒会長として

今年、鴨川中学校で生徒会長を務めさせていただいている高野光生です。

今年度の生徒会スローガンは、「一日一歩～新たな自分～」です。これは、毎日一歩ずつでも前進し、自分の新たな可能性を広げてほしいという意味がこめられています。このスローガンに向けて、生徒会でもみんなに喜んでもらえるような新しい取り組みを考えています。鴨川中学校は、今年で創立7年目を迎えました。これからも、先輩方の築いた伝統を受け継いでいきます。そして、新たな道を切り拓いていきます。地域のみなさんも、温かく見守ってくださると嬉しいです。これからもどうぞよろしくお願い致します。



安房東中学校  
1年  
金高 隼汰さん

## たった一人の新入部員

僕は小学生の頃から続けてきた野球を中学でも続けています。小学生の時、同じチームだった仲間が別の中学に行ってしまうことが僕の心を不安にさせました。

しかし、よく考えてみると、一緒に野球はできなくても、次は戦って競い合えば一緒に野球をしているのと同じです。

結局、安房東中の1年生部員は僕一人でした。練習は厳しいですが、先生や先輩たちがわかりやすくアドバイスしてくれるので、充実した練習ができます。

3年の先輩が引退すると、部員は更に少なくなります。今まで以上に協力し合い、先輩たちが目標としているベスト4への目標を受け継ぎ、人数をハンデとしない元気な野球部をつくっていきたいです。

# 市議会を見る

次の定例会は  
**9月1日(金)**

開会予定です

市役所  
5F

議場にて

しっかり

1番のおすすめは、議場の傍聴席。団体・グループでの傍聴もできます。また、議場にて議案等の貸し出しを行っています。

市役所  
1F

市政情報コーナーにて

気軽に

正面玄関から入ってすぐ左手。モニターで生中継がご覧になれます。

身近に

## ご家庭や公民館で

ご自宅のパソコンで、議会審議の様子がライブ中継と録画中継でご覧になれます。

鴨川市議会

検索

いつでも

## 会議録の閲覧

過去の会議録は、市議会ホームページや図書館、公民館でご覧ください。

平成29年第2回定例会の会議録は、8月下旬ごろ掲載予定です。

お問合せは議会事務局まで。

電話 04-7093-7825  
FAX 04-7093-7848

## 議会報編集委員会



|             |             |           |          |          |          |          |          |          |          |
|-------------|-------------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 委員長 長 佐藤 和幸 | 副委員長 福原 三枝子 | 委員 大和田 悟史 | 委員 辰野 利文 | 委員 佐藤 拓郎 | 委員 脇坂 保雄 | 委員 脇坂 保雄 | 委員 脇坂 保雄 | 委員 脇坂 保雄 | 委員 脇坂 保雄 |
| 川崎 浩之       | 佐久間 章       | 脇坂 保雄     | 脇坂 保雄    | 脇坂 保雄    | 脇坂 保雄    | 脇坂 保雄    | 脇坂 保雄    | 脇坂 保雄    | 脇坂 保雄    |

6月定例会では、亀田市長が施政方針演説の中「この4年間で、本気で鴨川を変えていく」との決意を、述べられました。

市長と議会は、車の両輪です。市政をチェックする役割を果たしながら、引き続き、人口減少など様々な課題解決のために、共に働いて参ります。

田園では、稲穂も黄金色となり、実りの季節到来です。私達がまた、新米を食することが出来るのも、農家等皆様のおかげであり、心から感謝申し上げます。

(福原 三枝子)

